

ハンドボール

特集

第5回春の全国中学生選手権大会
第7回東アジアクラブ選手権

6・7 5

JUN.JUL.2010・No.510



[表紙写真: 第5回春の全国中学生選手権大会・男子優勝の大体大附属中・瀬利将太郎選手・写真提供・スポーツイベント社]

財団法人 日本ハンドボール協会

<http://www.handball.jp/>



molten[®]
For the real game



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

日本リーグ唯一の公式試合球
全日本実業団連盟主催大会
唯一の公式試合球

H312 ヌエバ **国際公認球** **検定球**

縫い・人工皮革、3号球、ラテックスチューブ

H212 ヌエバ **国際公認球** **検定球**

縫い・人工皮革、2号球、ラテックスチューブ



www.molten.co.jp

株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川五丁目5-7

新たなスタートを切る

……がんばれハンドボール20万人会



(財)日本ハンドボール協会参事 中野利一

経過と現状

(財)日本ハンドボール協会では、過去に賛助会という組織がありました。これに代わり、「がんばれハンドボール10万人会」が平成11年にスタートすることになりました。日本全国でハンドボールに関わる人口を、まずは10万人を達成しようとして実施されたものです。内訳は、役員・選手・審判・会員(サポート会員)等の総計の人数です。会員を増やすことにより、「スポーツ界におけるハンドボール競技の知名度を上昇させるとともに、ハンドボール競技を発展させ活発にしよう」を目的としてスタートを切りました。

振り返りますと、当時は7万人台の会員数であったかと思えます。その数も現在では、おかげさまで平成19年3月現在において10万人を突破することが出来ました。永らく日本では、少子高齢化が叫ばれ、さらに経済不況の煽りを受けその環境が著しく厳しくなっております。各スポーツ競技団体においても競技人口、選手の強化・育成、そして競技力の向上にと色々対策に苦慮しているのが現実のようです。

新たなスタート

上記で述べました通り、「がんばれハンドボール10万人会」は、各都道府県協会・各連盟、団体の多大なるご協力によって一つの目標を達成することができました。改めまして感謝を申し上げます。

そこで、さらにステップアップを目指す目的で、名称を平成22年4月より「がんばれハンドボール20万人会」へ変更し、一部規約の改正を新しくスタートを切りました。主な内容は、会員の種類に、新しく「特別法人会員」を追加、「フレンド会員」を削除し、会員の特典を一部変更しました。

今後ともご理解とご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げますとともに、ご意見・ご指導をお願いいたします。

サポート会員の加入について

サポート会員の更なる増大を願い、ここで加入の方法について改めて述べさせていただきます。「名誉会員」「特別法人会員」「特別会員」「グランド会員」「ファミリー会員」「ジュニア会員」の加入については、(財)日本ハンドボール協会にて直轄窓口にて行っておりますが、今後も従来の方で加入者を募ってまいりたいと思えます。尚、「ファミリー会員」は1名、「グループ会員」は3~5名で組織しての加入ですが、窓口は、各都道府県協会の担当者となっております。各都道府県協会の担当者は、(財)日本ハンドボール協会に加入会員の報告を御願います。入会者増大の具体的方策として、特に一線を退いた高校のOB・OGの方々をハンドボール界の表舞台に引き戻すことや、各地域でのスポーツ少年団などが活発になってきておりますのでその保護者の方々、そして地元クラブで活動している方々等が加入していただければ、現会員数の倍増につながると思えます。このようにして日本全国で、ハンドボールに関係する方々の数を増やし、行政機関・教育機関・マスコミ等にアピールし強い関心を持っていただき、さらに知名度を上げ、国民的スポーツになるよう努力をしていかななくてはなりません。

「20万人会」を充実し日本ハンドボール界の基盤構築に努め、サポート会員の組織化を目指したいと考えます。最後に、皆様方の力強い応援で悲願であるオリンピックへの出場を後押ししていきましょう。

平成21年度

第5回

春の全国中学生 ハンドボール 選手権大会



写真提供…スポーツイベント社

第5回春の全国中学生ハンドボール選手権大会を振り返り

氷見市実行委員会事務局次長 伊勢利弘

本大会は、青少年があこがれ、目標とするスポーツ毎の拠点を形成し、スポーツの振興と地域の再生に寄与することを目的として平成17年度を初年度として10年間氷見市で開催するものです。

初年度、第2回大会では全国46都道府県から男女計92チーム、第3回大会では男女計93チーム、第4回大会では男女計91チームが参加して行われました。本年度は男子47チーム（島根県不出場）、女子46チーム（新潟県、島根県不出場）、男女計93チームが参加し、中学生が参加する全国スポーツ大会としては、最大規模の大会を開催することができました。

第3回大会から優勝チームに総務大臣杯が授与されるようになって、競技力の向上だけでなく、地域の活性化に向けた努力がいつそう求められるようになりました。

今大会の開会式では、石井隆一富山県知事、布村幸彦文部科学省スポーツ・青少年局長等、多くの来賓の方々にご臨席を賜り、全国の中学生ハンドボーラーに温かい励ましの言葉をいただきました。歓迎レセプションでは、「ほしのふるまち」の映画制作も話題になり、氷見市が舞台のヒロイン・渚は、ハンドボール部のエースとして活躍する姿が、2011年春に全国公開されることになりました。

競技は、昨年にも増して寒い日が続き雪のちらつく日もありましたが、全ての面で順調で、各チームが熱戦を展開して応援サポーターや市民も盛り上がり、予定通り終わることができました。毎年交流試合に積極的に参加し、5回目にしてはじめて勝利をあげた愛媛県のチームが3回戦まで勝ち進み、保護者や市民を喜ばせていました。

第3回大会から、大会前から練習や交流試合会場を提供するようになり懸命に取り組んだので、会場は熱気に包まれ、参加チームにとってはたいへん好評でした。会場の提供や世話をいただいた関係各位に、感謝しています。

そのほか、大会期間中長期滞在の疲れ等で体調を崩す選手がいたり、試合でけがをしたりした選手もいましたが、宿舎の皆様や医療機関、サポーターの皆様方の献身的なご支援により無事帰郷されました。

全国から訪れる人々を温かく迎え、また、選手が安心してプレーが出来るよう、市内各地区から応援担当サポーターの協力をいただき、チームや保護者とのさまざまな交流を図りました。応援サポーターがチームの実情を知って、回を重ねるごとに適切なサポートができるようになってきました。

氷見市の魅力を全国に発信し、競技力の向上と地域の活性化を目指した当初の目的は達成できました。

最終順位

- ◆男子 優勝：大阪体育大学附属中学校（大阪府）
準優勝：長崎市立日吉中学校（長崎県）
3位：岩国市立岩国中学校（山口県）
ヴァルト岐阜（岐阜県）
- ◆女子 優勝：名古屋市立平針中学校（愛知県）
準優勝：川崎市立西中原中学校（神奈川県）
3位：明石市立魚住東中学校（兵庫県）
福井市光陽中学校（福井県）



写真提供：スポーツイベント社

男子優勝チーム 大阪体育大学附属中学校（大阪府）

大阪体育大学附属中学校監督 逢坂静男

第 5 回春の全国中学生ハンドボール大会で、創部以来 38 年にして初めて優勝することができました。この優勝は昨年度の大会で優勝チームの愛知県はとり中学校に 1 回戦で敗退した悔しさを忘れることなく引きついでくれた選手たちのおかげです。また、生徒たちを支えていただいた保護者の皆様をはじめ、学校、関係各位のご協力、ご理解の賜物と厚く感謝いたします。また、練習に付き合ってくれた卒業生の皆様、高校生の皆様にもお礼を申し上げます。

この大会の予選会では、体調面の維持に大変苦勞をしました。インフルエンザで高校が学級閉鎖、中学校でも感染が広がり、あと 1～2 人で学年閉鎖になるというところで、何とか持ちこたえ、予選大会に出場することができ胸をなでおろしました。

今年はエース的な選手はいませんが、目的意識が高く、それぞれ個性のもった運動能力の高い選手が集まりました。雨天の日は、午前 7 時から体育館で早朝練習、放課後は 7 時 30 分くらいまで頑張り、遠方の生徒は 2 時間弱の通学時間にもかかわらず、休まず真面目に取り組んだのが良い結果につながったのではないかと思います。

今大会で対戦した 1 回戦の清水第 2（静岡県）は長身ぞろいで前半苦戦を強いられ、2 回戦で戦った三松中学校（宮崎県）とは過去 2 回全国大会で当たり苦戦の末勝っているチームで、前評判でも優勝候補のチームでありましたが作戦通りの戦いで勝つことができました。3 回戦は平山中学校（東京都）、準々決勝では、沖縄県の仲西中学校戦で前後半とも 1

～2 点差のシーソーゲームで、前半終了 15 秒前に 1 点リードされましたが、残り時間 3 秒前にキャプテン瀬利がシュートを決め同点で前半終了となりました。

この 1 点が後半の試合展開に、大きく影響したと思います。後半に入っても前半同様の試合展開で 22 分に仲西中学校のエース東選手の欠場で 3 点の差がつきゲームセットとなりました。

この日はとても寒く、外は雪やみぞれで体調管理に神経が費やされました。準決勝、決勝戦としたいに緊張感が高まり、試合開始前に緊張感をほぐすため、声を出して特にチームのムードを良くして、お互いの結束を高め試合に臨みました。決勝戦の相手は長崎県の日吉中学校で、スピードのあるカットインプレーと、強力なロングシュートのあるチームでした。試合開始からリードするが追いつかれ、再び突き放すが、食いついてくるチームで、後半 16 分過ぎに日吉のスピードが少し落ちた時に点差を開けられたのが勝因になったと思います。

この優勝は、努力した選手は勿論のこと、ベンチの 9 名もそれぞれの役割を担い、全員の力で勝ち取ったことにより、貴重な体験をし、大きく成長することができたと思います。

そして夏の全国大会、JOC 大会に向けてさらに前進してくれると確信しています。私自身も教員生活後わずかとなりましたが、熱い気持ちを忘れることなく努力して参ります。

最後になりましたがこの大会を支えてこられた、日本ハンドボール協会、富山県ハンドボール関係者の皆様、ご多忙の中、最後まで親身になり応援いただいた氷見市のサポーターの皆様、本当にありがとうございました。



写真提供：スポーツイベント社

大阪体育大学附属中学校主将 瀬利 将太郎

僕たちハンドボール部は逢阪先生と平井コーチの厳しい指導のもと、仲間と励まし合い、先生方や家族そして友達に支えられ、春の全国大会に初めての優勝をすることができました。2回戦の宮崎県の三松中学校には大きく点差を広げたのに追いつかれ、前半は苦しい展開でした。しかし、後半はチームで話し合っ守りを強くしようと約束をし、それがうまくいって大差で勝つことができました。準々決勝の沖縄県仲西中学校戦はシーソーゲームとなり、前半ラスト2秒で同点に追いつくことができました。後半みんなで気持ちを一つにして、シュートが入ればお互いに喜びあい、テンションを上げて最後には振り切ることができました。

準決勝の相手は、岐阜県のヴァルト岐阜戦で、練習試合では勝つことができませんでしたが、前の試合の仲西戦の勢いで、途中に同点に追いつかれても「絶対に勝てる」と強い気持ちで頑張った結果勝つことができました。

そしていよいよ決勝戦で選手紹介があり、胸がわくわくし、夢にまで見た一面のコートで試合ができ、いよいよここまで来たのだという実感が湧いてきました。決勝の相手は、長崎県の日吉中学校で、先制点を取られましたが、焦ることなく落ち着いて自分達のハンドボールをすることができました。これも毎日先生のご指導のもと頑張ってきた成果だと思います。

これからも更なる目標である夏の全国中学校大会優勝を目指して、日々の練習を怠ることなく頑張りたいと思います。

女子優勝チーム 名古屋市立平針中学校 (愛知県)

名古屋市立平針中学校監督 熊谷博明

第5回春の全国中学生ハンドボール選手権大会におきまして、初出場で優勝させていただきましたことを心より嬉しく思っています。これもひとえに日頃からご支援ご協力をいただいている愛知県ハンドボール協会、名古屋市ハンドボール協会、愛知県や名古屋市で生徒の指導に携わっている先生方、校長先生始め、平針中学校の職員、保護者のみなさまのおかげであると深く感謝しております。

また、チームスタッフの部長として生徒と関わっていた鳥本岳志先生、トレーナーの加藤丈晴さんにはチームのためにご協力いただいたことで生徒に大きな力を与えていた

だくことになったことは言うまでもありません。

このチームは、昨夏の東海大会で初戦敗退したことで全中出場を逃したことをバネに新チームがスタートしました。昨年のチームからの経験者はおりましたが、ケガをかかえていた選手がいたこと、チームとしての戦術が徹底されていなかったことなど問題をかかえており不安が強くありました。小学校時代から全国大会で入賞経験がありましたが、中学校で大きな大会での経験は不足しており、名古屋市、愛知県の大大会で順調に勝ち進んでもチーム内にもう一つ緊張感を感じ取ることができず、モチベーションがなかなか上がらないまま練習を重ねていたように思います。今、振り返ってみると転機は、昨年度より名古屋市開催となったJOCジュニアオリ

ンピックカップの試合を目前で観戦させていただいたことによって、全国大会の雰囲気、選手の運動能力や集中力の高さ、攻防の激しさ、チーム戦術の浸透度など、全国大会で自分たちがどれだけ通用するのかを考えさせられるきっかけになったのはまちがいありませんでした。

本大会の前には、県内の高校生に数多く胸を貸していただき、練習や試合を積み重ねることでチーム内の慢心を排除することにつながっていきました。本大会は、1試合でも多く試合をさせてやりたいという思いの中で大会に参加させていただきました。試合の序盤は、動きの硬さが見られましたが、試合が進むにつれ、ペースをつかみ運良く勝ち上がることができました。迎えた準決勝の光陽中との対戦は、両チームともにミスが目立ち本来の力を発揮することができず、苦しい試合ではありました。しかし、チームの長所である速攻からの得点をきっかけに、前半からのリードを何とか守りきって勝利をつかむことができました。決勝はその勢いで試合のペースをつかみ、リードを保つことができました。終了のホイッスルが鳴った瞬間、すばらしい生徒達から感動をいただいたことは私の貴重な財産となりました。

私の指導者としての原点は、横井保信先生（元中京高校）と小辻壽雄先生（元東港中、汐路中学校）の二人の恩師の指導にあります。この二人の指導者に一歩でも近づくことを目標に夏の大会に向けて生徒達とともに歩んでいきたいと思えます。先生方、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、今大会の運営に携わられた富山県、氷見市の関係者のみなさま、陰で大会を支えていただいた中学生のみなさん、本当にありがとうございました。

名古屋市立平針中学校主将 藤原真由子

私達は今回の春の全国中学生ハンドボール選手権大会で優勝できて感激しています。私達のチームの多くは、平針南小でハンドボールをやっていた経験者です。小学生の時に氷見で開催された「ちびっこハンドボールフェスティバル 2007」という大会に出場して春中の存在を知ったときから、2年後には大会に出場して絶対に優勝しようと決め、中学校入学以来、日々努力を重ねてきました。

入学以来ご指導いただいた高橋勝輝先生の縦に攻めるハンドボールに、熊谷先生の斜めに合わせていくという形のハンドボールが加わり、すごく戸惑いを感じていました。一生懸命練習していても、熊谷先生には怒鳴られるばかりで、もうやめたいと思うときが何度もありました。それでも、諦めずにチームの仲間と一緒に頑張ってきたからこそ、優勝を勝ちとることができたのだと思います。

これからも、私達のプレー‘堅守速攻’に磨きをかけ、今まで以上に気持ちを一つにして、平針中のモットーである‘負けないハンドボール’を目指して頑張ります。

こうして優勝できたのも、ご指導いただいた先生方、常日ごろから応援してくれている家族、私達のために何度も全力で練習相手になって下さった、名経大市邨高校、桜花学園高校、星城高校、愛知商業高校の高校生の皆さんのおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

今までの経験で得た財産を土台にして、平針中学校女子ハンドボールは春夏連覇に向けて走り続けていきたいと思えます。



戦評

【男子】

▼準決勝

日吉（長崎） 27（12 - 16、15 - 9） 25 岩国（山口）

スローオフ直後、日吉2番峰、6番藤川、8番山口の4連続得点により日吉ペースで試合が始まった。対する岩国も3番木下の連続得点で少しずつリズムを取り戻すが、シュートミスやパスミスからの逆速攻により徐々に点差が広がっていった。

中盤、交替選手のいないチーム状況での連戦による疲れから日吉にミスが出始め、岩国は6番長和のポストシュート、8番田村の速攻、3番木下のミドルシュートなど5連続得点を挙げるなど、12対10と逆転に成功した。その後も連続得点を重ねた岩国が試合の流れを一気に引き寄せ、前半は16対12で折り返した。

後半スタート直後から、日吉はスピードを活かした攻撃を続け、3連続得点で16対15と追いつけた。岩国は、2番峰に対してマンツーマン・ディフェンスを仕掛け、日吉の攻撃リズムを崩しにかかった。その後、どちらのチームも連続得点を挙げるなど、試合の主導権が大きく行き来する気の抜けないゲーム展開となった。

終盤、スピードを活かした攻撃を仕掛け続けた日吉が、岩国のミスを誘って得点に結びつけ、27対25で逃げ切った。

大体大附属 36（13 - 12、23 - 16） 28 ヴァルト岐阜（岐阜）

序盤に硬さの見えるヴァルト岐阜に対して、大体大附属はフットワークを生かした堅いディフェンスで相手のミスを誘い、速攻による得点を重ねて流れを引き寄せた。一時は点差が5点まで開いたが、ヴァルト岐阜は12番篠田を中心によく守り、5番石原のミドルシュートなどでじりじりと点差を詰め、前半18分過ぎに同点とし、試合をふりだしに戻す。

その後は両チームのGKの好セーブもあり、お互いに決めていないまま大体大附属の1点リードで前半を折り返した。

後半に入ると大体大附属はディフェンスが機能し始め、2番石田、6番北山の速攻で一気にあたみかけ、流れを引き寄せる。点差が9点にまで広がった18分過ぎにヴァルト岐阜はマンツーマン・ディフェンスに切り替え、大体大附属のミスを誘おうとしたが、逆に大体大附属は広がったヴァルト岐阜ディフェンスのスペースを落ち着いて攻め、着実に点数を重ねていった。最後まで足を止めることなく攻守に徹した大体大附属が決勝へと駒を進めた。

▼決勝

大体大附属（大阪） 40（18 - 12、22 - 17） 29 日吉（長崎）

日吉8番山口のスピードあるカットインプレーの得点から始まった男子決勝戦。対する大体大附属も2番石田、3番瀬利の力強いロングシュートで得点する。さらに、3-3ディフェンスから相手のミスを誘い速攻を仕掛けるなど、大体大附属は多彩なプレーで8分までには8対2とリードを広げた。ここで日吉はタイムアウトを要求。冷静さを取り戻した日吉も2番峰のミドルシュートなどで得点を重ね追撃、18対12として大体大附属リードで前半を折り返した。

後半も大体大附属は、2番石田、3番瀬利が連続で得点を上げ得点を重ねた。食い下がる日吉も2番峰のロングシュ



KIRIN

スポーツの感動を、ありがとう!



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく、ほどほどに。

www.kirin.co.jp
キリンビール株式会社

ート、8 番山口のカットインで反撃するものの、16 分過ぎ、ここまで着実に得点を重ねてきた山口が 3 回目の退場となり失格となった。日吉は、前日の試合で負傷した選手をコートに送り出す状況にあっても、あきらめずに最後まで戦い抜いたが、40 対 29 で大体大附属が初優勝の栄冠を手にした。

【女子】

▼準決勝

西中原（神奈川） 19（10 - 6、9 - 10） 16 魚住東（兵庫）

決勝進出をかけた一戦。両チームともに大一番に対する緊張からか攻撃のミスが多く、3 対 3 と 10 分過ぎまではロースコアの接戦が展開された。その後、西中原 3 番原田による 2 連続得点で試合が動き始め、前半終了時点では、10 対 6 と西中原が抜けだし、4 点リードで折り返した。

後半開始まもなく、魚住東は 3 番奥村、6 番中村の連続得点で追い上げる。さらにポストを起点として追撃を図るが、うまくつながらず、逆に西中原の 2 連続得点を許してしまう。後半 16 分過ぎからは、西中原 4 番平野の 3 連続速攻でさらに点差が広がった。終盤 20 分過ぎに退場者を出したものの、その時間帯をしのぎきった西中原が 3 点差で逃げ切り、決勝進出を果たした。

平針（愛知） 21（12 - 7、9 - 11） 18 光陽（福井）

試合開始早々、4 番岩永のロングシュートが決まり、動きで勝負する光陽ペースで試合が始まった。それに対して大型プレイヤーを揃える平針は、6 - 0 ディフェンスで光陽のカットインを許さず、堅い守りからの速攻を中心に得点を重ねた。両チームの鋭いシュートに対して光陽 1 番山本、平針 1 番新保の両 GK の好セーブが光り、1 点を競り合う一進一退の好ゲームとなった。しかし、前半 17 分からミスが出始めた光陽に対して、そのチャンスをすかさず得点につなげた平針は、6 番坂口、2 番藤原、5 番杉浦の 4 連続得点をきっかけにリズムをつかみ、12 対 7 と平針リードで前半を折り返した。

後半、光陽は 3 番木村、4 番岩永のロングシュートを中心



に、得点するものの、平針のスペースを与えない 6 - 0 ディフェンスを崩すことができなかった。対して、平針はディフェンスからの速攻を確実に得点し点差を広げた。終盤、必死に追い上げる光陽を辛くも振り切った平針に軍配が上がったが、体格差を感じさせない、それぞれの良さが発揮された素晴らしいゲームであった。

▼決勝

平針（愛知） 33（16 - 8、17 - 12） 20 西中原（神奈川）

平針のスローオフで試合開始。前半序盤、平針は強固なディフェンスからの速攻で勢いに乗り、8 番センター田中を中心とした速いパス回しで西中原ディフェンスを翻弄し、5 番杉浦がサイドシュートを確実に決めることで着実に得点を重ねていった。西中原も、ダブルポストやフォーメーション・プレーなどを駆使した攻撃で食い下がろうとしたが、平針ディフェンスを崩すことは難しく、その後も速攻などで得点を重ねた平針が 8 点差で前半を折り返した。

後半立ち上がり、平針は 5 番杉浦の速攻や 8 番田中のロングシュートで 5 連続得点し、点差を一気に広げた。一方、西中原も 2 番水村のロングシュート、4 番平野のサイドシュートなどで必死に追いつこうとしたが、その差を縮めることはできなかった。結局、15 得点をあげた 5 番杉浦の大活躍もあり、平針が 33 対 20 で初優勝の栄冠を手にした

どんなに抑えつけられても、
誰よりも
高く飛んだら

この25分×2は俺たちの
空間や——!!

スポーツドラマの名手が贈る。
ハンドボールに懸ける青春と影。
ビッグコミックスピリッツの大人気シリーズ連載!

明日のない空

第1集

全日本のエース、宮崎大輔も
大推薦で発売中!!
定価/550円(税込) 発行/小学館

明日のない空 堀内夏子

センターまでお買える! <http://comics.shogakukan.co.jp/> 書店でご希望の単行本が見つからない場合は、お手数ですが店頭でご注文ください。お問い合わせ先—お客課相談センターTEL.03-5281-3556